

2021年

## 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 安全の確保と人命の尊重がバス事業者の最大の使命であることを認識し、役員・社員が一丸となって、その使命達成に全力を尽くす。
- (2) 輸送の安全に関する法令や関連する社内規程を十分理解するとともに、これらを遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。
- (3) 安全管理体制を維持向上させるため、常に仕事の点検と確認を怠らないようにし、継続的改善を図る。
- (4) 事故防止のため、社員の健康管理体制を一層強化する。
- (5) **新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底する。**
- (6) 輸送の安全に関する方針や目標などの情報を、ホームページを活用するなどして、利用者に積極的に公表する。

千歳相互観光バス株式会社

代表取締役社長 沼田 聖

## 2021年安全目標

- (1) 人身事故を**ゼロ**に！
- (2) 事故件数を前年度より**半減**！
- (3) 一般道・高速道とも法定速度を**遵守**！
- (4) 飲酒運転は**厳禁**！
- (5) 始業前点検・終業時点検の**徹底**！
- (6) 心臓・呼吸器疾患の早期発見と早期治療！

千歳相互観光バス株式会社

代表取締役社長 沼田 聖

輸送の安全に関する基本方針と安全目標に基づく取組計画

(2021年)

区 分	具体的な取組項目
安全教育と安全運行に関する取組	警察署や保険会社と連携した安全教育の実施（年2回以上） <ul style="list-style-type: none"> <li>・提携保険会社から講師を招き、<b>危険予知トレーニング</b>を実施</li> <li>・札幌厚別警察署と千歳警察署に講師派遣を依頼し、安全運転セミナーを開催</li> </ul>
	消防署に講師派遣を依頼し、心臓マッサージやAEDの救急救命に関する実技講習を実施
	役員と管理職による安全巡回や同乗指導を随時実施。その結果を社内で公表するとともに、必要に応じて個別に乗務員を指導教育
	自社と他社における事故事例（新聞報道や北海道バス協会からの情報を含む。）と警察署からの交通事故例を社内掲示板で周知
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタコ記録に基づく法定速度遵守状況の把握と、必要に応じて乗務員への指導を実施</li> <li>・記録管理付きアルコールチェッカーの厳格な運用</li> </ul>
	終業点呼時において運転者から道路情報や危険情報を取り寄せ、事故防止を徹底
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型二種免許取得に当たっての全額助成措置を継続</li> <li>・新採用運転手に対する教育訓練の実施 標準座学時間42時間及び標準運転時間125時間の確保</li> </ul>
安全輸送に関する設備充実の取組	デジタコによる省エネ運転のさらなる励行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタコ記録に基づいてアイドリングの短縮等を指導</li> </ul>
事故多発者や高齢運転者等への指導	大きな事故を引き起こした者や事故多発者に対する適性診断（カウンセリング付き一般診断を含む）の実施
	60歳以上の高齢運転者に対する研修と適性診断の実施
健診体制の充実強化による事故防止	脳MRI検査等の実施による脳疾患・呼吸器疾患・心臓疾患・睡眠時無呼吸症候群の早期発見と早期治療
新型コロナウイルス感染防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員にうがい、手洗い、手指消毒、検温を徹底するよう指示</li> <li>・車内における定期的な換気の励行、抗菌コーティングの実施</li> </ul>
その他取組内容の公表など	自社のホームページで輸送の安全に関する基本方針や安全目標、達成状況などを公表
	運輸安全マネジメントの評価項目を取り入れた勤務評価の継続実施

千歳相互観光バス株式会社

自動車事故報告規則第2条（重大事故）に規定する事故件数の状況は、次のとおりです。

自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

区 分	2019年事故件数	2020年事故件数
正面衝突又は追突	0件	0件
後退時衝突	0	0
車両故障	0	0
その他	1	0
合 計	1件	0件